

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2021年2月15日、株式会社ビジョンは、2020年12月期通期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	FY12/18				FY12/19				FY12/20				累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q															
売上高	4,922	4,933	5,962	5,687	6,470	6,467	7,610	6,771	5,989	3,641	3,478	3,546	9,989	9,630	13,108	16,654	99.7%	16,700									
前年比	13.8%	22.6%	23.5%	29.9%	31.4%	31.1%	27.7%	19.1%	-7.4%	-43.7%	-54.3%	-47.6%	-7.4%	-25.6%	-36.2%	-39.0%											
売上総利益	2,931	2,889	3,579	3,251	3,798	3,699	4,474	3,720	3,253	1,570	2,002	1,970	3,253	4,822	6,824	8,794											
前年比	16.2%	23.9%	28.3%	29.0%	29.6%	28.0%	25.0%	14.4%	-14.4%	-57.6%	-55.3%	-47.0%	-14.4%	-35.7%	-43.0%	-44.0%											
売上総利益率	59.5%	58.6%	60.0%	57.2%	58.7%	57.2%	58.8%	54.9%	54.3%	43.1%	57.6%	55.5%	54.3%	50.1%	52.1%	52.8%											
販管費	2,194	2,389	2,679	2,903	2,818	2,988	3,194	3,365	2,765	2,073	1,928	1,924	2,765	4,838	6,766	8,690											
前年比	9.3%	19.8%	27.5%	27.9%	28.4%	25.1%	19.2%	15.9%	-1.9%	-30.6%	-39.6%	-42.8%	-1.9%	-16.7%	-24.8%	-29.7%											
売上高販管費比率	44.6%	48.4%	44.9%	51.1%	43.6%	46.2%	42.0%	49.7%	46.2%	56.9%	55.4%	54.2%	46.2%	50.2%	51.6%	52.2%											
営業利益	736	500	900	348	980	710	1,280	355	488	-503	73	46	488	-15	58	104	179.1%	58									
前年比	43.4%	48.4%	30.7%	39.6%	33.1%	42.0%	42.2%	1.9%	-50.2%	-	-94.3%	-87.1%	-50.2%	-98.0%	-96.9%	-96.9%											
営業利益率	15.0%	10.1%	15.1%	6.1%	15.1%	11.0%	16.8%	5.2%	8.1%	-	2.1%	1.3%	8.1%	-	0.4%	0.6%											
経常利益	746	500	901	354	981	693	1,338	347	496	-430	101	60	496	67	168	228	136.5%	167									
前年比	47.8%	44.6%	30.5%	39.0%	31.6%	38.6%	48.6%	-1.9%	-49.4%	-	-92.4%	-82.7%	-49.4%	-96.0%	-94.4%	-93.2%											
経常利益率	15.1%	10.1%	15.1%	6.2%	15.2%	10.7%	17.6%	5.1%	8.3%	-	2.9%	1.7%	8.3%	0.7%	1.3%	1.4%											
親会社株主に帰属する当期純利益	514	295	623	97	669	406	911	240	116	-1,468	126	42	116	-1,352	-1,226	-1,184	-	-1,226									
前年比	50.4%	28.6%	33.2%	-42.8%	30.2%	37.5%	46.3%	147.1%	-82.6%	-	-86.2%	-82.3%	-82.6%	-	-	-											
当期利益率	10.4%	6.0%	10.5%	1.7%	10.3%	6.3%	12.0%	3.5%	1.9%	-	3.6%	1.2%	1.9%	-	-	-											

  

四半期業績推移 (百万円)	FY12/18				FY12/19				FY12/20				累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q															
売上高	4,922	4,933	5,962	5,687	6,470	6,467	7,610	6,771	5,989	3,641	3,478	3,546	9,989	9,630	13,108	16,654	99.7%	16,700									
グローバルWiFi事業	3,090	2,898	3,929	3,589	4,076	4,109	5,085	4,463	3,348	1,286	1,273	1,372	3,348	4,634	5,907	7,278	99.8%	7,293									
情報通信 サービス事業	1,818	2,009	1,976	1,970	2,302	2,207	2,330	2,116	2,515	2,004	2,145	2,133	2,515	4,518	6,664	8,797	99.8%	8,812									
その他	15	26	57	127	92	151	195	193	127	352	60	42	127	478	538	579	97.6%	594									
営業利益	736	500	900	348	980	710	1,280	355	488	-503	73	46	488	-15	58	104	179.1%	58									
グローバルWiFi事業	701	448	769	495	871	725	1,275	431	326	-347	-28	-42	326	-21	-48	-91	-	-54									
情報通信 サービス事業	296	338	372	213	482	350	342	189	517	300	368	336	517	817	1,185	1,520	100.6%	1,511									
その他および調整額	-262	-286	-241	-360	-374	-365	-337	-265	-356	-456	-267	-248	-356	-811	-1,078	-1,326	-	-1,399									
営業利益率	15.0%	10.1%	15.1%	6.1%	15.1%	11.0%	16.8%	5.2%	8.1%	-	2.1%	1.3%	8.1%	-	0.4%	0.6%											
グローバルWiFi事業	22.7%	15.5%	19.6%	13.8%	21.4%	17.6%	25.1%	9.7%	9.8%	-	-	-	9.8%	-	0.4%	0.6%											
情報通信 サービス事業	16.3%	16.8%	18.8%	10.8%	20.9%	15.9%	14.7%	8.9%	20.6%	15.0%	17.1%	15.7%	20.6%	18.1%	17.8%	17.3%											

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*\*2015年12月期の四半期実績については、四半期財務諸表を作成していないため、参考数値

\*\*\*会社予想は直近の値

## 2020年12月期通期実績（2021年2月15日発表）

### 決算概要

- ▷ 2020年12月期通期実績：売上高16,654百万円（前期比39.0%減）、営業利益104百万円（同96.9%減）、経常利益228百万円（同93.2%減）、親会社株主に帰属する当期純損失1,184百万円（同当期純利益2,226百万円）。
- ▷ 通期会社予想に対する進捗率：2020年12月期修正通期会社予想\*（2020年11月9日発表）に対する達成率は、売上高99.7%、営業利益179.1%、経常利益136.5%。
- ▷ 前期比39.0%減収：グローバルWiFi事業は同59.0%減収。コロナウイルス感染の影響により2020年3月以降のアウトバウンド・インバウンドのレンタル件数はほぼゼロで推移。一方、国内Wi-Fiの需要を積極的に取り込み単月黒字化直前まで回復。情報通信サービス事業（外部売上高）は同1.8%減収。コスト削減系商材および移動体通信機器（テレワーク対応用など）の販売が好調であった。しかし、リース取扱高が8ヶ月連続減少（出典：公益社団法人リース事業協会）し、リース契約によるOA機器販売の受注が減少し、前年同期比減収となった。
- ▷ 同96.9%減益：グローバルWi-Fi事業はセグメント損失91百万円（前期はセグメント利益3,302百万円）。情報通信サービス事業は同11.5%増益。売上総利益率は前期比4.6%ポイント低下の52.8%。売上高販管費率は同6.9%ポイント上昇の52.2%。営業利益率は同11.6%ポイント低下の0.6%となった。グローバルWiFi事業は、通信の利用に応じて課金の発生する従量課金制の契約により海外通信原価が大幅に減少。情報通信サービス事業では携帯電話の販売増加（仕入原価の発生する商材比率の増加）に伴い原価率が上昇した。各種費用の見直し・圧縮により販管費額は減少したが、減収により販管費率は上昇した。ただし、当第3四半期には資金収支黒字に転換し、当第4四半期も営業利益を計上した。
- ▷ 前期比93.2%経常減益：助成金収入124百万円を計上（前年同期は67百万円）。
- ▷ 親会社株主に帰属する四半期純損失1,184百万円：当第2四半期にレンタル資産をはじめとするグローバルWiFi事業関連資産の減損損失計1,395百万円を計上、一部の投資先における投資有価証券評価損357百万円を計上。

#### \*2020年12月期通期業績予想修正（2020年11月9日発表）

- ▷ 売上高：16,700百万円（前回予想は16,700百万円）
- ▷ 営業利益：58百万円（同営業損失320百万円）
- ▷ 経常利益：167百万円（同営業損失213百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純損失：1,226百万円（同当期純損失1,601百万円）

#### 修正の理由

- ・当第3四半期における新型コロナウイルス感染症による事業活動・業績などへの影響を総合的に勘案したところ、各種経費の効率化の取組みにより、各利益において当初予想を上回る見込となった。
- ・観光客を除いたビジネス渡航などの入国制限の段階的な解除が進められているが、海外渡航者（アウトバウンド・インバウンド）の激減は、2020年12月期末以降も継続すること、国内においては緊急事態宣言などの再度の発出など社会的制限が実施されないことを前提に業績予想を算定している。

### 減損損失の計上

- ▷ 当第2四半期において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産（のれんを含む）について、帳簿価額を回収可能価額にまで減額し、合計1,395百万円の減損損失（特別損失）を計上した。セグメントごとの減損損失計上額は、以下の通り。
- ▷ グローバルWiFi事業：1,209百万円（Wi-Fiルーター、オプション、ソフトウェア、器具備品など）

- ▷ その他セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業：186百万円

## セグメント別動向

セグメント別の業績動向は以下の通りである。

### グローバルWiFi事業

- ▷ 売上高は7,278百万円（前期比59.0%減）、セグメント損失91百万円（同セグメント利益3,302百万円）となった。
- ▷ 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、各国においてロックダウンや緊急事態宣言、入国拒否や水際対策といった措置がとられたことで、人の移動は強く制限され、2020年12月期における日本人出国者数、訪日外国人数はそれぞれ、前期比84.2%減、87.1%減と大きく減少した（出典：日本政府観光局（JNTO））。同社のアウトバウンド・インバウンドのWi-Fiレンタルは2020年3月以降ほぼゼロで推移した。
- ▷ 一方、新型コロナウイルス感染症の拡大はビジネススタイルや人々の生活様式に大きな影響を与え、企業においては働き方の変化に伴いテレワークやオンライン営業が広く浸透した。教育においても文部科学省が「GIGAスクール構想」の計画を前倒しするなど、オンライン環境のニーズが高まっている。
- ▷ その他、引越・入院・出張、各種イベントなど様々なニーズに応えつつ、国内利用プランのオプションを設けた社内常備型モバイルWi-Fiルーター「グローバルWi-Fi for Biz」も堅調に推移した。
- ▷ 新型コロナウイルス感染症の収束までの期間が長期化することを見据え、アウトバウンド・インバウンド事業は一時的に縮小し、従量課金契約による通信原価の抑制、空港や物流関連における業務委託の縮小、一部従業員の需要が見込める他事業への配置転換などにより徹底したローコストオペレーションに取り組んだ結果、セグメント損失を最小限に抑えることができた。

### 情報通信サービス事業

- ▷ 同セグメントの売上高（外部売上高）は8,797百万円（前期比1.8%減）、セグメント利益は1,520百万円（同11.5%増）となった。
- ▷ 同セグメントの事業は、主に新設企業および中小規模事業者向けに固定通信サービス・移動体通信サービス・ブロードバンドサービスの加入取次、OA機器の販売・リース、およびホームページの制作などを行っている。
- ▷ 主要ターゲット（新設法人・ベンチャー企業）をターゲットとした川上戦略と、企業の成長ステージに応じたクロスセル・アップセルを軸とし、ストックの増加と高効率な営業スタイルを図ることで安定性と収益性の向上に取り組んでいる。
- ▷ テレワーク導入企業が増加する中で、移動体通信機器が好調な売れ行きを示し、初期導入コストを抑制できる簡易ホームページ制作サービス「Vision Crafts!（ビジョクラ）」の受注が堅調に推移した。一方、国内のリース取扱高が2020年5月以降8ヶ月連続減少（出典：公益社団法人リース事業協会）していることもあり、OA機器販売の受注が減少した。
- ▷ コロナ禍における働き方の変化に伴い、WEBサイトからの問い合わせ対応やテレマーケティング営業に順次テレワークを取り入れ、訪問営業はテレビ会議による営業にスタイルを変えていくことで、営業機会の損失を防ぐとともに、営業コストの削減に努めた。
- ▷ これらの結果、微減収ながら増益となった。

## 2021年12月期会社計画

連結業績 (百万円)	FY12/19			FY12/20			FY12/21		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期会予	下期会予	通期会予
<b>売上高</b>	<b>12,937</b>	<b>14,381</b>	<b>27,318</b>	<b>9,630</b>	<b>7,024</b>	<b>16,654</b>	<b>7,274</b>	<b>7,889</b>	<b>15,163</b>
前年比	31.3%	23.5%	27.0%	-25.6%	-51.2%	-39.0%	-24.5%	12.3%	-9.0%
<b>売上総利益</b>	<b>7,496</b>	<b>8,194</b>	<b>15,690</b>	<b>4,822</b>	<b>3,971</b>	<b>8,794</b>			<b>8,676</b>
前年比	28.8%	20.0%	24.0%	-35.7%	-51.5%	-44.0%			-1.3%
売上総利益率	57.9%	57.0%	57.4%	50.1%	56.5%	52.8%			57.2%
販売費及び一般管理費	7,262	5,103	12,365	5,806	2,883	8,690			8,268
売上高販売管理費率	56.1%	35.5%	45.3%	60.3%	41.1%	52.2%			54.5%
<b>営業利益</b>	<b>1,690</b>	<b>1,635</b>	<b>3,325</b>	<b>-15</b>	<b>119</b>	<b>104</b>	<b>126</b>	<b>281</b>	<b>407</b>
前年比	36.7%	31.0%	33.8%	-	-92.7%	-96.9%	-	136.1%	291.7%
営業利益率	13.1%	11.4%	12.2%	-0.2%	1.7%	0.6%	1.7%	3.6%	2.7%
<b>経常利益</b>	<b>1,674</b>	<b>1,685</b>	<b>3,359</b>	<b>67</b>	<b>161</b>	<b>228</b>	<b>121</b>	<b>276</b>	<b>397</b>
前年比	34.4%	34.4%	34.4%	-96.0%	-90.4%	-93.2%	81.6%	71.1%	74.2%
経常利益率	12.9%	11.7%	12.3%	0.7%	2.3%	1.4%	1.7%	3.5%	2.6%
<b>当期純利益</b>	<b>1,075</b>	<b>1,151</b>	<b>2,226</b>	<b>-1,352</b>	<b>168</b>	<b>-1,184</b>	<b>71</b>	<b>174</b>	<b>245</b>
前年比	32.9%	59.8%	45.6%	-	-85.4%	-	-	3.5%	-

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

\*\*2015年12月期の四半期実績については、四半期財務諸表を作成していないため、参考数値

## 2021年12月期会社予想：概要

2021年12月期会社予想は、売上高15,163百万円（前期比9.0%減）、営業利益407百万円（同291.7%増）、経常利益397百万円（同74.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益245百万円（同当期純損失1,184百万円）。

- ▷ 新型コロナウイルス感染症の影響については不確実性が大きく、将来を見通すのは困難な状況ではあるが、2021年2月現在において入手可能な情報を基に、以下のような経営環境の変化を想定し、業績予想を算出している。新型コロナウイルス感染拡大の収束時期、および経営環境への影響が著しく変動する場合には、連結業績予想を変更する可能性がある。
- ▷ ニューノーマル時代に即した日本国内におけるWi-Fiレンタル事業、情報通信サービス事業に注力し、自社サービス（月額制）及び通信商材の各種保守サービス等の拡販を図る。

## セグメント別

### グローバルWiFi事業

売上高5,816百万円（前期比20.1%減）、営業利益77百万円（前期は営業損失91百万円）を同社は予想。

- ▷ 同社では、2021年1月以降、訪日外国人数および日本人出国者数は2020年3月以降と同様に推移し、第4四半期（2021年10月以降）より2019年10月以降対比で需要が25%回復すると予測している。
- ▷ 新型コロナウイルス感染症の状況による企業活動への影響が不確定であるため、テレワーク需要は保守的に予測している。

### 情報通信サービス事業

売上高8,927百万円（同1.5%増）、営業利益1,397百万円（同8.1%減）を同社は予想。

- ▷ 同社では、開業企業数は前年比横ばいから低下傾向で推移、新型コロナウイルス感染症による営業件数への影響はオンライン営業の活用で軽微であると予測。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

## ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

## 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

## 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)